

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個17事01

政策名	4 環境にやさしい港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 環境担当課長
基本施策名	05 人と自然にやさしい港湾環境づくり	事務事業	成果	コスト	連絡先 052-654-7819	環境担当課長
個別施策名	17 良好な港湾空間を維持・創出する					
事務事業名	01 緑地配置計画の策定(港湾計画の策定)	継続	拡大	拡大	連絡先 052-654-7819	計画担当
目的	緑地配置計画を策定し、港湾計画に位置づけ、事業化につなげます。				事業 期間	平成17~25年度 ※「その他特記事項」
概要	環境機能の向上、ふ頭特性を見据えた緑地の配置や機能の転換など、緑地の配置を検討します。				根拠 法令等	港湾法第3条の3
					実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	港湾計画改訂に向けて学識者へのヒアリングやアンケートなどにより課題・要請等を整理します。				関連 シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	来港者等へのアンケートを実施するなど名古屋港の環境現況や課題を整理し港湾計画検討委員会の進捗にあわせて緑地の配置などの検討を行いました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目、算出方法等)
事業費 計	千円	0	0	7,350	7,549	35,197	(款項目節) 歳出:企画調整費/調査費/企画調査費/委託料
一般会計	千円	0	0	7,350	7,549	35,197	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	1,754	1,716	3,986	4,051	4,619	(その他) 事業費については、港湾計画改訂にかかる費用を一式で計上しており、港湾計画の策定にかかる各事務事業シートでは同額を計上しています。(環境影響評価にかかるものを除く)
正規職員	人	0.20	0.20	0.47	0.47	0.53	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	1,754	1,716	11,336	11,600	39,816	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標	25	備考(指標の算定方法など)
港湾計画の策定手続きの進捗状況(工程)	目標	1.3	0.7	2.0	1.0	1.6	(累計)5		以下の変更手続きにおける実施工程数を合計します。①基本計画の作成、②予測・検証、③委員会による合意形成、④名古屋港審議会への諮問・答申、⑤国の交通政策審議会への諮問・答申及び公示
	実績	0.3	0.2	0.2	0.2	0.6			
	達成率(単年度%)	23.1	28.6	10.0	20.0	37.5			
	達成率(累計%)	26.0	30.0	34.0	38.0	50.0			
策定進捗率(%)	目標	26.0	14.0	40.0	20.0	32.0	(累計)100		港湾計画の策定手続きの実施工程を把握することで事業の進捗度をみます。進捗率は手続きの実施工程数÷予定工程数で算出します。
	実績	6.0	4.0	4.0	4.0	12.0			
	達成率(単年度%)	23.1	28.6	10.0	20.0	37.5			
	達成率(累計%)	26.0	30.0	34.0	38.0	50.0			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)					その他特記事項		
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □					※港湾計画の策定については、東日本震災の影響により、企業活動の将来動向が不透明であることによる貨物推計時期の見極め、改訂作業に考慮すべき事項として港湾運営会社の動向や国際産業ハブ港としての方向性(長期構想の見直し等)の整理が必要であるため、目標年度を23年度から変更。(23年度行政評価)		
	利用者のニーズは高いか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>							
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □					予測・検証及び委員会による合意形成に向けた検討を進めているが、成果目標には達していません。		
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □					港湾計画の策定は港湾法により実施が義務付けられており、港湾管理者が定めなければならないことから、実施主体として適正です。		
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	運営主体は、本組であるのが最も効率的か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて良好な港湾環境の形成に着実に取り組むため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

名古屋港基本計画検討委員会に提示した内容やパブリックコメントを踏まえ、港湾計画改訂に向けて、関係者との調整や具体的検討を引き続き実施していきます。